

# 平成27年度自己評価結果公表シート

学校法人清泉学園 ひばり幼稚園

## 1. 本園の教育目標

知育・体育・徳育の調和の中で、総合的な活動を通し、心身の成長を育む。  
 ・プール、体育で健康な心身を育てる  
 ・音楽リズム、絵画制作等を通して優雅な情操を養う。  
 ・自然観察をする機会を多くする。  
 ・昔からの行事を生かして、郷土に密着した教育につとめる。

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

・本園の教育課程、指導計画の再確認を行い、内容を検討し、自己評価・自己点検を実施することにより、教員自ら客観的に自園を見る目を養い、保育内容の改善、施設の改善に取り組む。  
 ・研修等を通じ、教員の専門性・資質を向上し、保育に反映する。

## 3. 評価項目及び取り組み状況

評価項目	取組状況
教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通の理解をはかる。	本園の教育課程の再確認・見直しをし理解を深め、園長・学年主任でねらいをたて、保育に反映させている。
教育課程・子供も実態等に基に、指導計画を作成する。	教育課程に基に、学年毎に指導計画を作成し、保育に反映させる。 課題を学年毎に園長と話し合い、子供の実態即した内容に加筆・訂正を行う。
子供の実態を的確につかみ、具体的に手立てを講じ保育を進める。	教員は日々保育記録を参考にし、子供の実態を把握し、日案の作成に反映させる。
教員の資質、教育の向上のために、研修等に積極的に参加する。	夏休みを利用し、園外の研修に積極的に参加している。全員が参加できない場合は、職員会議等において提供し、共有化を図るようにする。また、和泉市子ども未来室主催の研修会にも参加している。 園内には、音楽・マーチング・体育の研修を実施。また、学期毎の職員会議に加え、各行事の反省会や日々の日礼で、気づいたことを話し合い、教員一人一人の資質の向上につなげる。
保育・行事を通して、工夫したり、友だちと協力することの喜び、大切さを感じ、達成感を味わう。	自ら工夫したり、友達との協力する喜び・大切さを感じられる保育環境・保育を準備・提供する。
子育て支援の充実	日々の預かり保育を実施し、保護者の急な用事（兄弟の学校行事等）に対応する。また、仕事をお持ちの方、お持ちでない方も、余裕をもって子育てができるように預かり保育を活用して頂く。 夏休み期間中の預かり保育の内容をさらに見直し、普段の保育ではできないような活動を取り入れている。結果、多くの方に利用して頂いている。 また、未就園児教室（2歳児）は、保育内容を見直し、より一層充実した。また、未就園児親子教室（2歳児）も内容を見直し、子育て支援の充実をはかった。
防災・安全対策の充実	消防署の方にご協力頂き、火災避難訓練・地震避難訓練を実施しました。また、ヤマト運輸の方にご協力頂き、より実践に近い交通安全指導をすることができた。これらの取り組みから、園児・教職員に安全に対する、より一層の意識・課題を確認することができました。 また、南海トラフ地震を想定し、教室内の環境等を見直し、また、地震発生時の対応、園児をどのように誘導し避難させるかも再確認しまし

	た。 課題は、各学年で園児と話し合い持ち、改善に努めました。
園だよりやおたよりをとおして、幼稚園の情報を発信する。	園の教育方針や取り組み内容を情報発信するように、園だよりやおたよりに記載し、より一層積極的に取り組んでいく。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教育課程の再確認・見直し、行事毎の反省会、日々の職員会議を通し、保育の取り組むべき課題と園の方針を、全職員が理解を深め、共有化することができた。また、それぞれ教員が自己評価し、取組状況を報告し合う事を通じ、各々の課題を具体的に確認することができた。園外研修にも積極的に参加し、教員一人一人の資質の向上でき、専門性を高めることができた。子育て支援については、2歳児未就園児教室は多くの方に参加頂きました。課題としては、保育時間の検討が必要である。来年度は、保育時間の延長を予定している。未就園児親子教室に関しては、昨年度と同様、参加者が月平均30組であった。なお一層の内容の充実が必要であると感じる。

#### 5. 今後の取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
教職員のより一層の資質・専門性の向上	教職員の資質・専門性の維持をはかると共に研修等へ積極的に参加し、より一層の資質・専門性の向上につなげ、保育に反映させる。
教員としての基本姿勢を周知徹底	全教職員がよく理解できていることではあるが、今一度各々が再確認に、保育に努める。
教育課程・指導計画の編成	子供達により良い教育を提供するために、現状の教育課程・指導計画に満足せず、子供の実態に即し、加筆・訂正を行う。
子育て支援活動の見直し	未就園児教室の保育時間の見直しが必要である。次年度からは、保育時間の延長を予定している。

#### 6. 学校関係者評価委員会の意見

特に指摘する事項もなく、適切に運営されていると認められる。

#### 7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に園運営されていると認められた。